

# 羽ばたこう 立志の丘から



平成29年11月17日

No.29

## 吹奏楽部定期演奏会

11日は、本校吹奏楽部の第6回定期演奏会が、西仙北中央公民館で行われました。3年生部員の最後の演奏会でもありました。

本校吹奏楽部のファンは多く、当日は会場が満員になる盛況でした。また、大会では吹奏楽部に応援してもらっている野



球部員も、当日は感謝の気持ちを表そうと来場していました。その中で、部員たちはこれまでの練習成果を十分に発揮して、期待に応えました。

第1部はコンクール等で演奏した「ディヴェルティメント」や「ハウルの動く城」「セドナ」を、そして、第

2部ではアンサンブルとして、各パートごとに「なんでもないや」や「アンパンマンのマーチ&ホールニューワールド」「相棒 オープニングテーマ」などを演奏しました。



そして、第3部のお楽しみコーナーでは、来場いただいたお客様を意識した邦画のテーマ曲をクイズ形式で年代別に演奏しました。3年生部員のソロ演奏はさすがでした。藤澤先生の演奏は皆さん聞き惚れていました。

今年もすばらしい演奏会でした。部員の皆さん、ご支援いただいた保護者会の皆様、卒業生の皆さん、お疲れ様でした。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



## 全県秋季バドミントン大会

11日12日は、第19回秋田県中学校秋季バドミントン大会が、美郷中学校体育館で行われました。

男子団体、女子団体、そして、男女の個人戦シングルス、ダブルスに参加した本校は健闘し、団体戦は男女共に第3位でした。また、開会式では、男子部主将加藤君と、女子部主将の伊藤さんが堂々と選手宣誓をしました。



個人戦では、1年生は敗れてしまったものの、2年生の男子ダブルス加藤・田村ペアが、2年生の女子ダブルス伊藤・伊藤ペアが勝ち進みました。

男子ペアは3位入賞、女子ペアは、見事優勝しました。おめでとうございます。



なお、両ペアは、来月、弘前市で行われる東北大会出場を決めました。この大会でも活躍を期待します。

## 県中学校ソフトテニス大会1年生大会

12日は、2017年度ダンロップカップ 第21回秋田県中学校ソフトテニス1年生大会が、ニプロハチ公ドーム（大館樹海ドーム）で行われました。本校からは、大曲仙北予選を勝ち抜いた、高橋・澤田ペア、瀧澤・佐々木ペアが出場しました。

瀧澤・佐々木ペアは、予選リーグ1勝2敗でした。また、高橋・澤田ペアは、予選リーグ2勝1敗で、2位ペアの決勝トーナメントに進出しましたが、上位入賞はなりませんでした。2年生と共に、この冬に鍛えて、また、春に活躍してくれるものと思います。

## 草薙杯争奪バレーボール大会

11日12日は、仙北ふれあい体育館で、第44回草薙杯争奪バレーボール大会が行われました。

本校バレーボール部は、1回戦で太田中学校と対戦し、第1セットを落とすものの元気を失わず、第2セット及び第3



セットを奪い、逆転勝利でした。新チーム公式戦初勝利です。おめでとうございます。

2日目は、第1シードの協和中学校との対戦でした。善戦健闘しましたが、ベスト4の壁は厚かったようです。練習時の元気のよい声など、活気のあるバレーボール部は、今後の活躍が期待されます。目指せベスト4！

## いなかわカップバスケットボール大会

12日、本校バスケットボール部は、「いなかわカップバスケットボール大会」に招待され出場しました。羽後中学校及び仁賀保中学校には敗れましたが、横手清陵中学校には勝利しました。選抜大会に出場した主将佐藤君を中心に、これからの伸びが期待されるバスケットボール部です。

## 防火防災弁論大会 3年佐々木君出場

9日、秋田県消防協会大仙仙北美郷支部主催「平成29年度中学生防火防災弁論大会」が平和中学校を会場に行われ、5人の弁士が発表しました。本校からは3年生の佐々木君が出場し、「たった一つの命」と題して、「危機意識の欠如が、実は一番危ないのではないか」という主旨の弁論で、聴衆の共感を得ました。佐々木君、発表お疲れ様でした。



## 1年生 職場訪問学習実施

11月14日、1年生希翔学年が職場訪問学習を行いました。

これは、地元の企業や施設等22箇所を実際に訪問して、仕事の体験をさせてもらうことによって、自分の進路や「働くこと」について考える契機とすることをねらいにしております。



生徒は3～4名ほどのグループで、関心のある職場を訪問して見学したり、実際に働く方々と接したりする体験を通して、職業への関心や将来の生き方、生きがいについて考えることができたようです。また、地域の方々のさまざまな生き方やふるさとの対する思いに触れ、地域の産業や企業への理解も深まったようです。社会生活に必要な実際のあいさ



つや話し方、マナー、ルールについても実際の体験により深められました。

お忙しい中、生徒たちを受け入れていただいた地域の企業、施設等の皆様に深く感謝申し上げます。また、当日体調を崩し、訪問できなかった生徒もいました。ご準備等をしていただきながらたいへん申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

## 市教育委員会学校訪問

16日は、大仙市教育委員会学校訪問がありました。訪問者は、吉川教育長、鈴木教育委員をはじめ、伊藤教育指導部長、判田次長兼教育総務課長、高野次長兼教育指導課長、佐藤次長兼教育研究所長、森西仙北中央公民館参事、櫻田主幹兼指導主事でした。

訪問者の皆様には、1年生は数学科と英語科、2年生は技術科と英語科、3年生は国語科と理科の授業を



参観していただき、ご指導を賜りました。

生徒たちの様子については、「生徒は活動的で元気があり、表情も柔らかく人間関係のよさを感じる。また、学習中に『何を根拠に、そう思うの?』というやりとりに学びの確かさが見られた。」と感想をいただきました。また、「校内環境の整備がよく个性的で、生徒に気付かせる掲示物があって感心した。」とも話されました。

その上で、「発表時の声量をもっとほしい。本日の授業でも見られた表やグラフの学習、またICTの活用が社会の仕事や業務につながることを意識させてくればもっと生きた学びになるのではないか。授業を公式の場として言葉遣いや発表力を身に付けられるようにしてほしい。また、



AIなどの普及も見越し、未来予測のできる生徒の育成にも取り組んでほしい。」とさらなる学びの充実を期待されました。

また、教員には授業のねらいとゴールの整合性、授業による生徒の達成感、充実感が得られているか、研修を深めるよう求められました。特に、教育長からは、教員の日常の表情の功罪、学びの質の向上、小学校の学びが中学校で生かされる連携、「五者の心」をもった教員であってほしい旨の指導がありました。今後の学校経営・運営、指導にいかしていきたいと思っております。ありがとうございました。